

2021企業連携プロジェクト前期末報告会のプログラム  
 日時 2022年2月4日午後13時20分～17時30分  
 方式:Zoomオンライン アカウント ID 848 9018 4808 PW 051477)

発表時間

1	1933008	坂上 雄飛	乳幼児溺水防止システムの制作 乳幼児がお風呂で溺水するのを防ぐシステムを開発した。カメラで顔を検出し、一定時間顔が検出できなくなるとおぼれていると判断して、電動リールで乳幼児を持ち上げるシステムである。	7
	1933001	高村 優汰		
2	1933003	高野 希望	家庭におけるテレビ・プロジェクターの最適視聴環境の模索 テレビやプロジェクターでの理想的な視聴環境を模索するため、映像の見やすさに影響を与えると考えられる照度変化・色温度変化・表示色温度・フレーム色それぞれ4つの実験を行い比較し考察をした。	7
	1933038	飯島 剣士		
3	1933019	武藤 優生	体調を考慮した風呂温度の動的決定方式 本稿では、体調を考慮した風呂温度の動的決定方式を提案する。疲労度や活動量を風呂温度の決定に影響を与えそうな要素として考えデータを収集して関係性を調査し、風呂温度を決定するための方式を発見できた。	7
	1933005	佐藤 蒼空		
4	1933010	野村 大輝	障害者の身体に代わる分身ロボットの身体動作能力と空間移動能力の拡張 障害者による分身ロボットの操作をサポートするため、身体動作機能の半自動化とARを用いた空間拡張を実現した。センサを搭載した柔軟なハンドにより触覚コミュニケーションを可能にするとともに、ARアバターによる遠隔存在感を実現している。	9
	1933040	細田 亘晃		
	1933054	山田 月都		
5	1933021	森本 賢治	脳波を用いた人と異なる拡張した身体を有する3Dアバターの感情表現 人と異なる身体を持つアバターの自己同一性を高めるため、脳波インターフェイスを用いた感情を表現システムを開発する。尻尾を有する身体を得たユーザーが、自然な感情表現を学びながらストーリーを進める仮想空間体験を実現している。	5
6	1933027	古澤 瑠果	IoT機器を用いた睡眠改善システムの研究 IoT機器を用いて、睡眠不足の改善を図り、良い睡眠を支援するシステムを提案する。プロトタイプシステムを実生活に取り入れた様子を撮影し、アンケートによりシステムの有効性確認や課題の抽出を行った。	9
	1933023	望月 海久斗		
	1933052	篠山 涼奈		
	1933017	栗栖 優里奈	複数人への数値タイミングの検討 本プロジェクトは、課題を共有する複数人に対して、優先順位付きのアラートを送る手法を提案する。概念実証のため数ヶ月にわたる予備実験を行い、その情報を利用して熱中症アラートを送信するシステムを試作した。	7
7	1933050	石田 桃ノ介		
8	1933014	田中 倫	新しいデザインのホームプロジェクター 現在、プロジェクターは独自性の少ないデザインが多数を占めている。そこで『変形する』をキーワードとして遊び心と実用性のある、全方向に投影可能なホームプロジェクターをデザインし、モックアップにて検証した。	5
9	1933024	山下 武将	新しい健康機器のデザイン 現在市場に売られている健康機器は機器別に統一感が全く無く、単体ごとに収納している家庭が多い。そこで各機器を複合させてインテリアに馴染む新しい健康機器のデザインを考察し、モックアップを作成して検証した。	5
10	1933028	中山 大河	自由に使えるスピーカーのデザイン 現在、スピーカーは多様化したニーズにより、様々なシーンで楽しみたいと言う要望が多い。そこでそれらのニーズに対応し、自由に使う事が出来るスピーカーのデザインを考察し、モックアップを製作して検証する。	5
11	1933051	山本 成世	新しいドライバーのデザイン 現在、市場で販売されているドライバーは持ちやすさや邪魔な電源コードなど、使い勝手が悪い。そこで若者男女を問わず使いやすい新しいドライバーのデザインを考察し、モックアップを作成して検証した。	5
12	1933007	佐野 允紀	「大規模災害時における被災者情報発信方式の検討」～人工衛星みちびきを用いた発信方式の検討～ 大規模災害時には、電力・通信インフラが喪失する恐れや被災者情報の管理が困難という問題点が発生する。これらの問題点を解決するために、私たちは人工衛星みちびきを用いた被災者情報の発信方式について検討した。	7
	1933041	江口 智貴		
			休憩	
13	1933011	中村 一貴	直線型非接触空中運搬装置の開発 本プロジェクトは手に触れることなく物体を運搬することを目的とした非接触空中運搬装置の開発を行った。直線状にシロッコファンを並べ、風の流れに乗せて物体を運搬する。運搬する物体や形状を検討し、考察をする。	7
	1933002	内田 直輝		
14	1933047	青島 彰吾	小型単一指向性エレクトレットコンデンサマイクロホンユニットの開発 インストールマイクロホンと呼ばれる、小型単一指向性コンデンサマイクロホンを競合他社の製品と比較した。その結果から、指向周波数応答の優れたマイクロホンを数値設計からはじめて試作ユニットを開発した。	7
	1933022	藤田 瑞己		
	1933009	中山 鴻志	製造業現場での運用を想定した自律走行ロボットの開発・製作 製造現場での運用を想定した自律走行ロボットの開発・製作を行った。物品の自動運搬を競技課題とした若年者ものづくり競技大会に出場し、本研究の自律走行ロボットが適応できるかを確認した。その経験を基に安定走行実現のため更なる改良を行った。	7
15	1933048	藤田 優一郎		
16	1933025	岩崎 恵次郎	CO2センサと小型OLEDディスプレイを用いた環境測定装置の製作 コロナ渦における感染予防に換気は最も重要な項目の1つである。換気状態を確認する手法に二酸化炭素濃度の測定がある。本プロジェクトでは、CO2センサ、マイコン、小型OLEDディスプレイを使い環境測定装置を製作する。	5
17	1933030	武藤 圭祐	ペッパーズ・ゴーストとプロジェクションマッピングを用いたスマートスピーカーの疑似ホログラムの投影 ペッパーズ・ゴーストの原理を用いて、スマートスピーカーに話しかけることに対する抵抗を軽減するために、ホログラムの投影方法を提案する。スピーカーの機能を投影することで、抵抗を軽減することができた。	7
	1933044	橋場 元紀		
18	1933037	石垣 翔汰	今回我々は、バスケットボールのシュートフォームにおいて、openposeを用いて骨格情報を取得し、姿勢解析を行い未経験者と経験者の違いを明確にする。また、効率的なシュート練習に繋がると考えた。実際プロトタイプを開発したので報告する。	7
	1933016	田上 貴太		
19	1933013	山口 城	電気設備と施工管理 生活を支える、電気インフラを整える電気設備や電気工事にかかわる施工管理を理解することを目的として、企業と連携し学習を進める。	9
	1933042	杉本 陸		
	1933032	大畑 文哉		
20	1933020	池田 真人	店舗用HEMSシミュレーションで用いる蓄電池エミュレータに必要な実機器パラメータの測定 DR対応HEMS開発では店舗の消費電力シミュレーションが有効な手段となる。主要機器である蓄電池の実環境でのパラメータ値は明確でないため、エミュレータに盛り込むべきパラメータを実機器で測定、推定した。	5
21	1933006	岡田 将宗	企業連携プロジェクト ゴルフという競技を取り囲むビジネスをグループワークにより研究することで、社会人基礎力の向上を目指す。ゴルフを取り巻く環境の研究目的として、・新型コロナウイルスの影響でゴルファー人口が増えたのか。・初心者と既存のゴルファーとの関わり。・この企業連携プロジェクトを通して自分たちが成長できたか。	9
	1933029	椎名 孔智		
	1933033	奈良 龍聖		
	1933034	宮崎 力哉		
	1933035	大関 克歩		
	1933039	鶴瀬 有輝		
22	1933026	平川 巧	野球におけるVARの企画検討 前期学んだことを踏まえ応用を考えた時、サッカーで使われているVARIに着目した。無線通信を含め野球に応用した場合の企画検討を進めることにした。野球におけるVARシステムの企画検討+電波による信号伝達の基礎検討	9
	1933043	森久保 凌也		
	1933045	古堀 廉大		
23	1933036	鈴野 貴也	バッティングストラックアウト バッティングストラックアウトは持ち運びが容易な LED点灯機能を有した的に打球を当てるゲームである。グラウンドに的を設置しボールを打つことによってバッティングコントロールの練習としても使用することができる。	9
	1933046	小林 快志		
	1933049	山浦 雅嗣		
	1933053	永尾 竜聖		